

< 広報紙のデジタル化 >

広報紙のデジタル化のメリット（市民ニーズの分析・把握が容易、情報掲載量や発信の回数・時機の制限がない、いつでもどこでも受信・閲覧可能など）に着目し、広報紙のデジタル化に積極的に取り組んでいる2団体にヒアリングを実施する。また、以下に挙げる自治体業務の改善可能性の視座より、現状の課題と今後の展望に関する意見交換を行う。

- 【視座】
- ・ 発信媒体の変化により広報業務がどのように変化するか（例：業務改革やコスト削減）
 - ・ 自治体業務全体への波及効果が期待できるか（例：各種オンライン申請手続や窓口業務の効率化）

塩尻市(広報戦略)

- 「塩尻市広報戦略(2021年8月)」[※]の内容・特徴、塩尻市における広報の現状・課題について伺う。

※<https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/8/3480.html>

- これまでの広報誌の情報発信と各媒体の特性を活用した将来的な情報発信の特徴や戦略的広報の進捗状況について伺う。

- 広報紙のデジタル化や配布方法のオンライン化に留まらない業務改革の構想、そこから自治体が享受し得る効果・利益についての展望も伺う。

【本日のヒアリング先：塩尻市企画政策部秘書広報課】

神戸市(デジタル版広報紙)

- デジタル版（Web版）「広報紙KOBEOライン」[※]の取組の背景事情、デジタル版の特徴、PDFとの差異、デジタル版と紙媒体それぞれの強みや意義について伺う。

※<https://kouhoushi.city.kobe.lg.jp/>

- デジタル版（Web版）の活用に向けた組織としての内部・外部（民間委託の活用）によるノウハウの獲得・構築の進捗を伺う。

- デジタル版（Web版）の導入による業務改革の構想、そこから自治体が享受し得る効果・利益についての展望も伺う。

【本日のヒアリング先：神戸市広報戦略部】